

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	OZデイからつ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による支援を受けられること。	保育士がそれぞれの発達状況や満遍なく刺激を得られるよう鑑み、活動計画を立案、運営し、訓練士が活動に沿った姿勢調整や、より認識しやすい活動の提示方法を提案、実施し、看護師が吸引などの医療ケア、体調やサチュレーションのモニタリングを行い、安全に活動提供できるようにしている。	それぞれの専門性を高めること、利用者様の発達段階や得意な事をスタッフ全員で把握し、必要な支援を提供できるようにしていく。
2	児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護を運営しているため、多年齢の交流が出来る。	年齢に応じた関わり、活動の提供という視点で、年代別に活動を行う場合と、一緒に活動を共有する場合と、わけて提供している。一緒に共有する活動の際はスタッフが介しながらか触れ合ったり、お話ししたりするようにしている。	全員で行える活動、行事の提供と一緒に屋外への散歩や外出を計画していく。
3	周囲の資源が豊富。	徒歩圏内に海や小さな公園、神社があり、季節ごとの屋外での活動を提供しやすい。また駅が目の前にあり、電車を見に行ったり実際に乗ったりすることが行いやすい。周囲の店舗に買い物に行くこともあり、地域の方との交流もある。	気候がよい時は限られているが、屋外への散歩や電車移動などで声を掛けたり交流をもつことで、地域の方に認知してもらい機会を増やす。またご家族様が連れていくのが難しい海や駅、神社などに行くなかで、そこでしか経験できないことを経験する機会を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇中以外に地域との関わりや外出などが難しい。	学校から事業所まで距離があり、送迎に時間がかかるため、放課後の屋外での活動や集団活動は難しく、個別の活動提供となる。	距離の問題は解消できないため、放課後は個別での活動提供を行い、時間があれば屋外への散歩の提供、長期休暇中に外出や地域との交流がもてるような活動を提供していく。
2	利用者様の個性が高くなったため、施設設備の統一性が図りにくい。	賃貸物件であるため、改修にも限界がある。また、利用者様の個性が高くなったため、今までの環境設定では対応が難しい場面が出てきた。	現在も道具や備品を購入して、安全にお預かり出来るよう環境設定しており、それらを継続するとともに、会議などで危険な場面や箇所がないかモニタリングして安全にお預かりできるように設定していく。
3	事業所外での研修、専門職の研修への参加が難しい。	営業日はスタッフの人数の問題があり、外部研修に参加が難しい。休日は家庭の状況的に参加が難しいスタッフが多い。	オンライン、オンデマンドの研修や事業所に来てもらえる県の研修などを活用し、業務にもプライベートにも負担なく勉強できる研修の情報を提供していく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 OZデイからつ

公表日 2026年3月28日

利用児童数 6

回収数 4

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	0		個別性が高くなり、必要な道具が増えたことでスペースが足りないと感じられることもあるかと考えます。今後も工夫しながら安全に過ごして頂けるように努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	1	1		放課後児童クラブや児童館との交流は、感染症や放課後の時間、ケアの時間の関係から難しいと考えています。その分、外出した際に地域の方との関わりをもてるように支援したいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	0	0	1		ペアレントトレーニングや研修は行っていませんが、個別でのお話の際に情報提供を行うことがあります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3	1	0	0		体調面は特に保護者様と共有できるよう、お迎え、送迎時でお話したり、連絡帳への記載を行っています。今後も共通理解のために、情報共有を行ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1	0	0		利用者様、保護者様に寄り添った支援ができるよう、モニタリングや日々のお話の中で状況を把握し、支援を行っていきたく思います。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	0	1		父母の会、保護者会の開催は行っていませんが、行事の時に交流が図れるよう企画しています。今後一事業所としてはなく、地域の保護者様や兄弟での交流が図れたらと考えています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	1		御相談に対しては随時対応しており、改めてそういった場の周知はしておりません。ご相談などがあつた場合は出来るだけ早く対応できるよう心掛けています。
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	1	0	0		個人情報については保護者様、ご本人様の承諾を必ずとってからの外部提供するようにしています。漏洩が絶対にならないよう、鍵付きの書庫に保管するなどの対応をとっています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1		マニュアル策定と訓練は実施していますが、周知が足りておりませんでした。インスタグラムやお便りなどで周知できるように致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	3		各種災害に備えて、避難経路の確認や避難訓練を行っています。ご家族様への周知が足りていないので、インスタグラムなどでお知らせしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		安全計画の策定はお知らせしております。細かな内容については周知出来ておりません。ご利用者様の安全確保については日々検討し、改善しながら支援提供しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1	0	0		事故、ケガについては速やかにご連絡するようにしています。状況説明も判明していることはすべてご説明するようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	1		ありがとうございます。今後も楽しみにして頂けるよう、努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	1	0	0		ありがとうございます。上記と重なりますが、事業所での時間の充実、ご相談への対応など、支援が充実するよう努めています。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	OZデイからつ		公表日		2026年3月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2		日々の利用者様の人数に変動があるため、バギーが大きいこともあり、スペースが足りないと感じることもあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		制度上の配置は適切ですが、職員の退職、入職での職員数の増減があり、業務に時間がかかる時があります。今後入職予定ですので、改善していけると考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		バリアフリーではありますが、多様な利用者様に御利用いただいているため、それぞれの状況に合わせる事が難しい時もあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		上記と同じ理由で、それぞれの状況に合わせた環境設定が難しい時もあります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		個室は利用することができますが、個室の数が足りないことがあります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		可能なものは業務改善に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2		・機会があっても受講する時間確保が難しい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		標準化されたフォーマルなツールは使用できていませんが、インフォーマルな評価やアセスメントは日々行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3		活動プログラム立案は保育士中心に行っており、実施中や前に他職種から方法や提示の仕方の提案を行うこともあります。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2		流れを同じにし理解や成長を促しやすい部分と、新しい体験、成長を促せる活動内容を実施しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3		支援の内容は朝のミーティングで共有していますが、支援提供前に打ち合わせが行えないこともあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4		支援終了後は時間がないため、会議やモニタリングの際に共有していることが多いです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	2		日々の活動や長期休暇中の活動には、4つの基本活動が組み合わせて企画しています。放課後の短い時間では、医療ケアもある中で、複数組み合わせた活動を取り入れていけるかというところは、課題です。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		・就学準備は今年度が初めてです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		なかなか機会がありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		放課後の時間が短いことや医療ケアがあるため、児童クラブとの交流は行えていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	出来る限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		ペアレントトレーニングや研修は実施できていませんが、必要時に随時お話を聞き、情報提供などの対応を行うようにしています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3		・行事の際に交流を図っています。 ・保護者会の開催は行っていませんが、行事の際に保護者様や兄弟さんの交流を図っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		個人情報については、写真のSNS投稿や情報提供の際にも、情報漏洩にあたらぬか注意して行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		感染症のリスクもあるため、積極的な招待は行っていませんが、外出の際に地域の方々との交流する機会があります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	火災や水害などの避難訓練と共に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・アレルギーに関して指示書が必要な利用者様がおられませんが、今後必要があれば指示書に基づき対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画は策定しており、日々の支援の中で気づいた危険性は職員で共有し、対策を講じています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		年度初めに周知は行いましたが、今後も取り組みについて詳しく周知を行っていきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	虐待防止研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		